

四国奈半利炭田地質調査報告補遺

稲井 信雄*

Résumé

Nahary Coalfield in Kochi Prefecture.
(Supplement)

By

Nobuo Inai

The writer reported previously (Vol. 1 No. 2) on the geology of Nahary Coalfield. He writes here a supplementary explanation, having obtained such newer data as analytical table of the coals and the fossils which are found there.

高知県安芸郡安芸町附近のいわゆる奈半利炭田については、先に本所月報1巻2号にその概要を掲載したが、その後分析結果等新しい資料が整つたので、ここに追加し報告する。

地質図・地質柱状図等は先の報告を参照されたい。

1. 要 約

調査地内の夾炭層は高知県安芸郡安芸町の西方穴内地区、南東奈半利および登地区に分れて分布し、奈半利および穴内炭鉱は主要稼行炭鉱である。本層はいわゆる唐

浜層として知られている鮮新統の地層であり、下部より上部へ頁岩・砂岩・礫岩と岩相が変化する傾向があつて、炭層はその最下位の頁岩質の部分に、貝化石はその上位の砂岩の部分に多く含まれる。

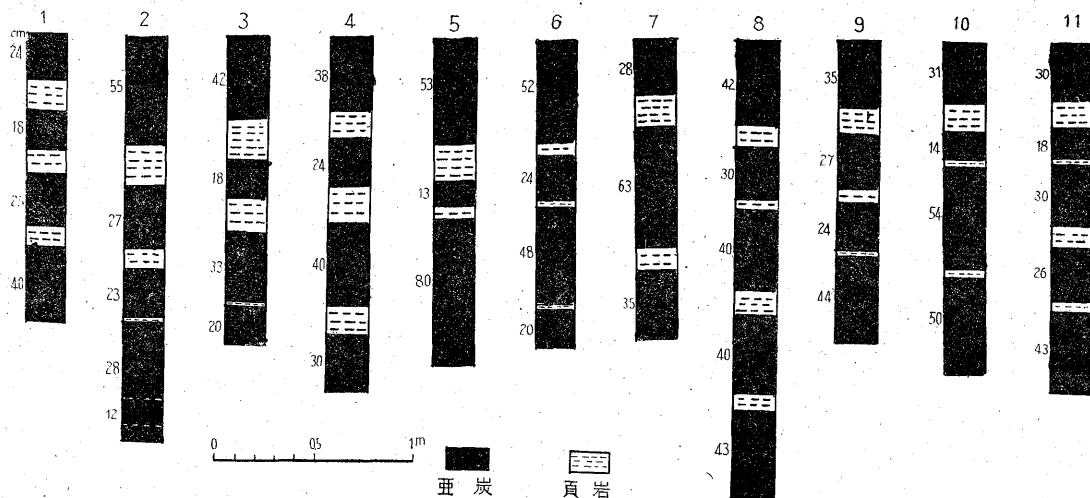
唐浜層は著しく褶曲した中生層上に不整合関係を以つて堆積し、夾炭部は、穴水・奈半利・登の三地域に分布している。

第1表

時 代	層 名	層厚 (M)	岩 質
洪積世	海岸段丘, 堆積物	10	礫, 砂, 粘土
鮮新世	唐 浜 層	100	礫岩, 砂岩, 頁岩亜炭 および化石を含む
中生代	室戸層		頁岩, 砂岩
	吉良川層		頁岩, 砂岩
	奈半利川層		頁岩, 砂岩, 礫岩
	安芸川層		砂岩, 頁岩

唐浜層の層厚は調査範囲内では約 100m, 炭層は奈半利地区では厚さ 1.5~2.0m の稼行層が1層, その上位に厚さ 10cm, 40cm の2層がある。

しかし穴内地区では厚さ 5~40cm の炭層 1層を数えるに過ぎない。



第1図 奈半利炭礦炭柱図

* 四国駐在官

かように不規則な堆積の原因は、中生層上に堆積した唐浜層が、その後現在見られる段丘礫層の堆積する以前に、部分的に剝削されたためである。

炭質は木質亜炭と炭質亜炭であつて、炭自体の中、木質は約3分の1程度を占めている。

炭量は理論炭量 108,000 t である。

炭柱図第1図参照。

2. 化 石

唐浜層中部の砂岩中に含まれている化石は、第2表の如くである。

第2表唐浜層産化石表 (大山技官鑑定)

GASTROPODA

1. *Polinices (Glossaulax) reinianus* (DUNKER)
2. *Cymatium?* sp.
3. *Tonna olearium* (LINNE')
4. *Nassarius (Zeuxis) caelatus* (A. ADAMS)
5. *Nassarius (Zeuxis) caelatus dainitiensis*

MAKIYAMA

6. *Microfusius* sp.
7. *Siphonalia sikokuana* NOMURA
8. *Siphonalia* sp.
- 9.10. *Ancilla* sp.
11. *Lyria* cf. *koyuana* (YOKOYAMA)
12. *Cancellaria pristiana* (YOKOYAMA)

13. *Cancellaria (Narona)* sp.
14. *Turricula subdeclis* (YOKOYAMA)
15. *Turricula* sp.
16. *Bathytoma luhdolfi* (LISCHKE)

SCAPHOPODA

17. *Dentalium (Antalis) weinkauffi* DUNKER

PELECYPODA

18. *Nuculana (Sacella) gordonis* (YOKOYAMA)
19. *Acila (Acila) "divaricata"* (HINDS)
20. *Glycymeris rotunda* (DUNKER) var.
21. *Anadara suzuki* (YOKOYAMA)
22. *Pecten (Patinopecten) tokyoensis* TOKUNAGA
23. *Amusiopecten praesignis* (YOKOYAMA)
24. *Venericardia panda* (YOKOYAMA)
25. *Joannisiella semiasperoides* (NOMURA)
26. *Fulvia mutica* (REEVE)
27. *Paphia* cf. *schnelliana* (DUNKER)
28. *Clementia vatheleti* MABILLE
29. *Aloidis (Anisocorbula) tosana* (YOKOYAMA)
30. *Thracia yokoyamai* OYAMA, MS.

COELENTERATA

31. *Flabellum* sp.

3. 分析結果

調査地内産 亜炭の分析は第3表の如くである。

第3表

昭和24年6月28日

地質調査所分析試験課

番号	採取場所	水分	灰分	揮発分	固定炭素	硫黄	発熱量	灰の色	比重
1	通道坑右三番坑	9.93	52.97	23.89	13.21	1.28	2270	灰 白	1.60
2	〃	11.04	34.23	37.49	17.24	1.25	3330	〃	1.37
3	〃	10.45	39.14	32.69	17.72	1.25	3170	〃	1.37
4	〃 ボンブ座	10.30	45.38	29.46	14.86	1.17	2640	〃	1.54
5	通道坑左三番坑	14.82	13.61	45.60	25.97	1.69	4430	淡 紫 褐	1.31
6	〃	12.60	24.91	41.64	20.85	1.58	3840	淡 紫 褐	1.28
7	〃	12.04	43.33	28.64	15.99	1.34	3830	灰 白	1.43
8	〃	13.35	35.46	32.22	18.97	1.40	3400	淡 褐	1.45
9	〃 左二番坑	14.39	7.14	52.69	25.78	2.25	4750	紫 褐	1.28
10	〃	10.94	36.05	33.87	19.14	1.47	3470	淡 褐	1.34
11	〃 第三斜坑口	9.18	48.12	28.98	13.72	1.63	2600	淡 桃	1.48
12	上盤層露頭	11.02	39.20	30.16	19.62	1.59	2770	赤 褐	1.43
13	穴内炭礦	14.09	3.79	51.99	30.13	1.88	5440	淡 褐	1.20
14	〃	15.18	11.50	43.09	30.23	2.36	4790	灰 白	1.29